

2020(令和2)年度 看護ハナマル先生による 模擬授業が行われました!

一般社団法人日本看護学教育学会は、看護学生さんからの推薦を受けて、令和2年度の看護ハナマル先生を選出しました。看護ハナマル先生には、近藤暁子さん(東京医科歯科大学大学院)が選ばれました。近藤さんには、日本看護学教育学会第30回学術集会にてオンライン授業を行っていただきました。

模擬授業の様子



近藤暁子さん(東京医科歯科大学大学院)(赤枠表示)と模擬学生さんを紹介します。今回はオンライン開催でしたので、群馬県立県民健康大学、神奈川県立保健福祉大学、熊本大学、沖縄県立看護大学、と全国各地の3・4年生9名に参加してもらいました。

近藤暁子さんの授業は、スライドを用いながら学生へのクイズ形式(問い)で始まりました。それに対して学生さんは、スライドをよく見ながら、一生懸命応答していました。

その後、話し合いのお題が出され、グループワークが行われました。

最後に、話し合った内容を発表しあい、活発な意見交換、近藤さんのまとめが行われました。

国際保健看護学の内容から、看護の本質の探究、看護職者として欠かせない姿勢や態度を深く学ぶ授業内容でした。

「世界の人口は現在どれくらいでしょうか?」「そうですね。では...日本の人口は世界第何位でしょうか?」

国際保健看護学

・世界の人口問題
・移民の受け入れ

東京医科歯科大学大学院 国際看護開発学
近藤暁子

日本の人口は世界第何位?

1. 6位
2. 11位
3. 16位

日本の医療に対する要望(2017年度卒業生)
留学生9名を対象としたインタビューより

1. 言語への対応(17).....医療スタッフの英語教育(9)
英語表記の充実(5)
通訳サービスの充実(3)
2. 受診過程の効率化(4)....案内・説明(2)
薬の入手法(2)
3. 異文化への対応(3).....宗教への慣習の違い

対応方法は日本人も外国人も同じ
共感的態度(信頼関係構築に重要)

1. 相手の使った言葉を返す
*I feel pain in my stomach. ⇒ I see you feel pain in your stomach.
*I cannot fall asleep because I don't know how long I have to be hospitalized.
⇒ You cannot sleep well because you don't know how long you have to be hospitalized.
(通訳を通さなくても可能)
2. 動作・姿勢(目線)を合わせる
3. 相手のリズムに合わせる
理解しているか確認しながらゆっくり話す、専門用語は避ける

患者から
逃げない!

「スライドをみると...
なので...だと思います。」

(近藤さんのスライドから引用)

コメント

新井英靖氏(茨城大学教育学部 教授)から近藤暁子さんの模擬授業について、1)深い学びに結びつく問いと応答、2)「国際保健看護学」は究極的に何を学ぶ学問であるか、という視点から以下のコメントをいただきました。なるほどーと思える深い洞察を教えてくださいました。



深い学びの実現のために… 教師はどのような役割を果たすか？

「問い」を投げかける

近藤先生の「問い」は、答えを導くために尋ねているのではなく、学生が資料を多角的に見ることができるようにするものであった。

「見えない」ことも考えさせる

「この図には書いていないことですけど…」

資料を「読み取る」ということは、「見えていること」を述べることではない！

➡「国際保健看護学」の世界を思索する旅に出る

(新井氏のスライドから引用)

「国際」=異文化を受け入れると、 「問題」は「発展」の契機となる



でも、価値観の違いを受け入れようとする、ぶつかり合うこともあるよね。

そう、問題は終わらないけど…

「事実」から目をそらすことなく、そこで生じている「問題」をニュートラルにとらえ、みんなで議論するなかで、日本は(=私たちは)どうするか？を考え続けること

「国際保健看護学」を専門とする近藤先生が授業を通して学生に教えたこと

＝看護学／教育学に最後まで残される課題である！

感謝を込めて



推薦者の上林千佳さんは、現在山形県で保健師として活躍されています。学生の時に近藤先生の国際保健看護学の授業を受け「国際化が進むなかで日本で看護師として働く意味は何か」「身に着けるべき国際感覚」を学び、大いに感銘を受けたと報告してくれました。上林さんにも本会から感謝状が送られました。

近藤暁子さんには、本会から看護ハナマル先生感謝状と記念品としてクリスタル置時計が送られました。近藤さんからは、「素敵な記念品と感謝状をいただき、ありがとうございました。今後、一層気を引き締めて教員として切磋琢磨してまいります」とコメントをいただきました。



理事長挨拶



「看護ハナマル先生」で模擬授業をしていただきましたこと、近藤先生に御礼申し上げます。「看護ハナマル先生」は、教え子からの推薦で始まり、それを受けて、模擬授業を行っていただくこととなりますが、今回は、学会全体がオンラインの中で行うことになり、模擬授業の準備も大変だったと思います。有難うございました。授業を拝見し、教材の扱い方やそれを基にした学生への問いかけの内容、とても興味深かったです。国際保健看護学は多分、どこかにモデルがあるというよりも、新たに教育内容構築をしながらの授業組み立てだと思えます。それは、全体のストーリーの中の位置づけでありつつ、1つの授業時間も1つのストーリーとして完結していくように組み立てられているのでしょうかと思ながら、拝見しておりました。ブレイクアウトセッション等を使い、その後の進行も興味深かったです。より良い授業をしてくださることは、学生達がどんどん育つ栄養になると思いますので、是非、これからも、興味深く、かつ、質の良い看護学教育を続けていただきたく、よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人
日本看護学教育学会
理事長 大島弓子

日本看護学教育学会では、次年度も引き続き看護ハナマル先生を募集します。看護学生のみなさんからの推薦をお待ちしております。

一般社団法人 日本看護学教育学会 教育活動委員会
委員長 嘉手苺英子 委員一同